

わたしから始まる高知の食育

～毎月19日は「食育の日」～



高知市では、現在、28地区でコミュニティ計画が策定され、23の推進市民会議が設立されており、住民と行政のパートナーシップのもと、様々な「まちづくり」の取り組みを進めています。そうした推進市民会議の今年の取り組みから、「食育」に関連するものをご紹介します。

◆清掃活動後のご褒美

毎年300人超が参加する「横浜小学校自然学習林清掃活動」は、横浜小学校PTAと地域の青少協や町内会連合会、よこせと・まちづくり市民会議の共催、その他横浜中学校や民協、地元企業と県・市の協力で開催しています。横浜小学校が県から借り受けて自然学習の場として活用している裏山の海岸には、浦戸湾内のゴミが多数漂着します。そんなゴミが散乱している海岸を「きれいになりたい」という子どもたちの思いに動かされ、各団体が連携しました。



清掃後には地域の方が提供してくれた野菜で、お母さんや先生方が愛情込めて作ってくれた豚汁と焼き芋が振る舞われます。地域の皆さんと共に清掃し、地域の皆さんが作った野菜を食べることによって、子どもたちには自分たちも地域の一員であるという意識が高まっています。

◆地域の里山でのたけのご堀り体験

秦地区コミュニティ計画推進市民会議では、里山「秦山」でのたけのご堀りを通じて、子どもたちに里山保全を体験してもらおうイベント「たけのご掘りた〜い」を4月15日に開催しました。

このイベントも好評を得まして今年で9回目。今年は、良いお天気にも恵まれ、昨年以上に大勢のご家族が参加してくれました。たけのこの山が狭く見えるほど



の参加者で、たけのこが足りるかどうか心配でしたが、昨年に比べてたくさんなたけのこが取れて、問題なかったようです。

桜はもう散っていましたが、子どもたちは、元気いっぱいなたけのこを掘っていました。たけのこ掘りを終えると、その後は秦泉寺公園に移動して、掘ったたけのこの皮を剥き、アルミホイルに包んで、竹炭の焼き場に投入。大変おいしい焼きたけのこを、子どもたちと一緒に頂くことができました。